

# 明治時代の橋 — 鉄橋のはじまり



「坂府新名所の内 新町鉄橋」二代目長谷川貞信画(神戸市立博物館蔵)



高麗橋  
明治3年



新町橋  
明治5年

「浪花繁栄東堀鉄橋図」松光富長画(神戸市立博物館蔵)



心齋橋  
明治6年



「心齋橋写真之図」二代目長谷川貞信画(神戸市立博物館蔵)  
現在、鶴見緑地内に「緑地西橋」として保存されている。



## 明治初期の 珍しい橋



安治川橋 (明治6年)  
「浪花安治川 新橋之景」二代目長谷川貞信画(神戸市立博物館蔵)



千代崎橋 (明治5年)  
「松しま千代崎橋の景」二代目長谷川貞信画(神戸市立博物館蔵)

# 大正～昭和初期の橋 — 都市計画によって架けられた橋



淀屋橋（昭和10年）  
大江橋とともに、中之島市庁舎をはさんだ重要な位置に架かる。重厚なコンクリートアーチ橋であり、全国から懸賞公募をし、意匠設計が行われた。



本町橋（大正2年）  
2ヒンジ鋼アーチ橋。現存する市内の橋のうちで最も古く、橋台、橋脚の装飾が美しい橋である。



大正橋（大正4年）  
市電事業により建設された自動車・市電併用橋。当時国内最大であったスパン90.6mの大アーチ橋も、昭和49年、現在の大正橋に架け換えられた。



戎橋（大正14年）  
道頓堀川に映えるコンクリートのアーチ橋。街の繁栄のシンボリック的存在となっている。



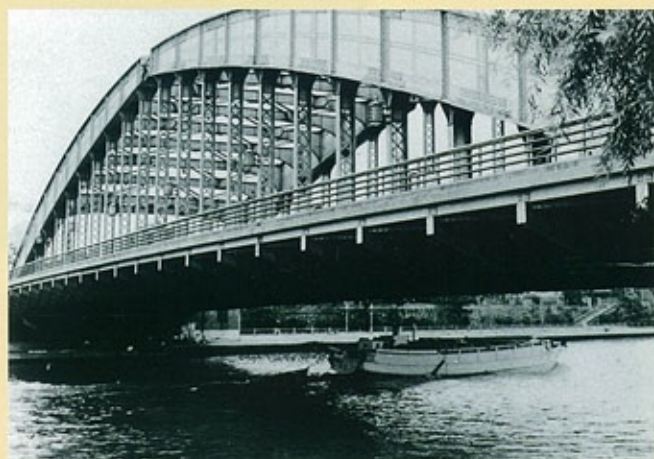
**四ツ橋**（昭和2～3年）  
四ツ橋とは、西横堀川と長堀川の合流部に架けられた4橋の総称であり、堀川の埋立てにともない昭和40年前後に相ついで姿を消した。



**西国橋**（昭和3年）  
近接する高層ビルとの調和を考慮して設計された2ヒンジ鋼アーチ橋。西横堀川の埋立てにともない姿を消した。



**高麗橋**（昭和4年）  
明治3年に大阪で最初の鉄橋として架け換えられたが、昭和に入って今の鉄筋コンクリートアーチ橋に変わった。古風な擬宝珠高欄が有名。



**桜宮橋**（昭和5年）  
昭和初期の名橋の一つで、淀屋橋とともに中之島大川筋のシンボルとなっている。3ヒンジ鋼アーチ橋で、“銀橋”とも呼ばれている。



**十三大橋**（昭和7年）  
淀川に架かる5連のタイドアーチ橋。雄大な淀川の風景とよく調和を保っている。



**平野橋**（昭和10年）  
完成当時世界的にも珍しい逆ランガーアーチ橋。